ID:0531

'10.4.23

2009年度開講科目

調査実習概要報告書

20010年4月15日

科目担当者氏名	科目担当者連絡先（メールアドレス）
（ふりがな）おおしろなおき 大城直樹	
連絡責任者氏名	**科目設置機関名**
（ふりがな）ささき まもる 佐々木 衛	神戸大学 文学部

授業科目名	科目認定番号	受講者数
地理学実習	KOBb-090401-2 KOBb-090402-2	2

Ⅰ．調査実習に関するコメント

学生が果たした役割や実習全般に対する感想など：
受講学生各自がテーマと調査地を決定し，官公庁訪問や聞き取り等による資料収集と現地踏査を行った。２回生対象なので，まだまだ調査スキルは未発達のところもあるが，フィールド・ワークの一歩を踏み出せたものと思われる。

Ⅱ．調査の企画・設計（デザイン）

１．調査のテーマ／領域：
岩手県花巻市・雫石町を調査拠点として，それら地域固有のトピックスについて調査する

２．調査の内容／概要：
花巻市の産業支援施策，小岩井農場の農業経営の変遷とその形態

３．調査の範囲／対象（量的調査の場合は母集団と標本数及びサンプリングの方法を、質的調査の場合は対象者選定の理由を必ず記入）：花巻市における産業支援策の推進団体である起業化支援センターにおける聞き取りならびに小岩井農場での聞き取り

４．主な調査項目：
花巻市工業団地の産業支援施設の実態調査，企業誘致策と環境整備の調査，花巻市起業化支援センターおよび関連施設の運用状況調査，小岩井農場の事業実態調査，

Ⅲ．データ収集の方法と結果

５．データ収集（現地調査）の方法：
聞き取り，参与観察，官公庁，事業所等での資料収集など

６．調査の実施時期・調査地・調査員の数：
２００９年８月１７日～２１日，岩手県花巻市・雫石町，２人

７．収集したデータの量と質への評価（量的調査の場合は有効回収票数及び回収率を必ず記入）：
聞き取りや参与観察については，短期間の割に一定程度の水準をクリアできたと思うが，インタビューに関してはサンプル数があまりにも少なすぎて，限定的情報しか入手できなかったのが惜しまれる。

Ⅳ．データ分析の方法と結果

８．データ分析／解釈の方法：
受講学生各々の入手したデータを実地検分によって確認。ミーティングでの発表と議論。

９．調査の成果（調査から得られた主な知見など）：
花巻市の起業化支援策が成功している実態が，その施策と環境整備，補助金の実態等も含めて，詳細な調査から明らかになった。また小岩井農場についても，実地調査によりその歴史と現状についてさらに詳しく明らかにされたこととと思う。

10．報告書刊行の予定と概要：
授業参加学生の提出した各レポートを基にした調査簡易製本版はすでに完成している。

＜記入上の注意点＞ 1．調査のテーマ毎に用紙を替えて(3つのテーマを立てて実施した場合は合計3枚に渡って)ご記入下さい。
2．最上部の*印の箇所には数字を(「*/*」には、報告書が複数枚になる場合のみ、3枚中の1枚目なら1/3と)ご記入下さい。
3．全ての項目について具体的にご記入下さい。但し、1テーマ毎に印刷が必ずA4サイズ1枚に収まるようにして下さい。フォントサイズは変えず(設定してある通りにして)、項目毎に分量に応じて「行の高さ」を変えることで調整していただけたら幸いです。
4．報告書はウェブ上で公開する予定です。また、調査実習情報をDB化することも検討しています。ご承知置きの上、ご記入下さい。